工事成績採点の細目別運用表(1/3)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 細目 | 技術力キーワード一覧表 | 【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例 |
| **施工技術** | **キーワード**  **評価** | ■ 技術固有の難しさへの対応  □ 1、工種及び工法の特殊性  □ 2、新工法（機器類を含む）及び新材料の適用  □ 3、その他（理由： ） | ・施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事  ・パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事  ・その他、特殊な工法及び材料等を用いた工事等  ・特殊な設備システムを採用した工事 |
| ■ 厳しい自然・地盤条件への対応  □ 4、湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時）  □ 5、軟弱地盤、支持地盤の状況  □ 6、工事用道路、作業スペース等の制約  □ 7、雨・雪・風・気温等の影響  □ 8、その他（理由： ） | ・地下水が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事  ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事  ・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事  ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事 |
| ■ 厳しい周辺環境等、社会条件への対応  □ 9、地中埋設物等の地中内の作業障害物  □10、工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・  建築物等の近接物  □11、周辺住民等に対する騒音・振動の配慮  □12、周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮  □13、生活道路を利用しての資機材搬入等の工事用道路の制約  □14、現道上で特に交通規制及びその処理が伴う作業  □15、騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等  □16、その他（理由： ） | ・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事  ・工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工制限を受けた工事  ・工事に先立ち又は施工中で、観測、調査等の結果に基づき、工法変更等を行った工事  ・環境対策が工程に大きな影響を与える工事  ・大気圧を超える気圧下の作業室での工事  ・酸欠・有毒・可燃性ガス等の対象が必要な工事。地上・水面から１０ｍ以上（１０ｍ以下）での工事  ・工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事  ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事 |
| ■ 施工現場での対応  □17、災害等での臨機の処理  □18、施工状況（条件）の変化に対応した施工･工法等の自発的提案と対応等  □19、その他（理由： ） | ・特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の受注者が複数ある工事  ・外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 |
| ■ 施設固有の難しさへの対応 [造園工事適用]  □20、総合空間整備  □21、水施設  □22、生態的施設・植栽  □23、その他（理由： ） | ・日本庭園 ・プール等の水施設 ・瀧組み等の高度な水施設  ・大規模な自然石石積み ・大規模な循環装置を有する流れ ・噴水等の水施設  ・自然育成施設 ・自然育成植栽 ・ビオトープ  ・調整池や河川との兼用施設 |
| ■ その他  □24、その他、施工及び工法等に優れた技術力及び能力として、評価すべき事項（理由： ） | 【その他】  ・その他、施工及び工法等の優れた技術及び能力として、評価する技術。 |
|  | | 評 点 ： 点  ※ ・該当ｷｰﾜｰﾄﾞ数の数と重みを勘案して評点する。 | 【施工技術のキーワードの詳細】 |

※１　施工技術とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な施工技術力を要する必要があった技術を評価するものである。なお、評価は「５、創意工夫」との二重評価はしない。

※２　施工技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に簡単な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「５、創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

工事成績採点の細目別運用表(2/3)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 細目 | 創意工夫キーワード一覧（創意工夫が多くみられるリスト） | 具体的内容 |
| **創意工夫**  **【軽微なもの】** | **キーワード**  **評価** | ■準備・片付け関係で、施工性・品質・安全性・作業環境について、次ぎの点で配慮したこと。  □ 1、測量・位置出しにおける工夫  □ 2、現地調査方法の工夫  □ 3、その他（理由： ） |  |
| ■施工関係で、施工性・品質・安全性・作業環境について、次ぎの点で配慮したこと。  □ 4、施工に伴う器具・工具・装置類の工夫  □ 5、工場加工製品等を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取り組み  □ 6、土工事・地業工事、鉄骨建方、コンクリート工事等の施工関係の工夫  □ 7、部材、機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫  □ 8、仮排水、仮道路、迂回路等の工夫  □ 9、運搬車輌・施工機械等の工夫  □10、支保工、型枠工、足場工及び仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関係の工夫  □11、施工管理及び品質向上等の工夫  □12、プレハブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫  □13、その他（理由： ） |  |
| ■品質関係について、次の点で配慮したこと。  □14、集計ソフト等の活用と工夫  □15、躯体工事の品質管理の工夫  □16、材料の検査試験に関する工夫  □17、施工の検査試験に関する工夫  □18、品質記録方法の工夫  □19、その他（理由： ） |  |
| ■安全衛生関係で、施工性・品質・安全性・作業環境について、次ぎの点で配慮したこと。  □20、安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等）  □21、安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング  □22、現場事務所、労務者宿舎等の移住空間及び設置等の工夫  □23、粉塵等防止策や作業中の換気等の工夫  □24、供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保等のための工夫  □25、作業環境低減等の工夫  □26、ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫  □27、その他（理由： ） |  |
| ■施工管理関係について、次の点で配慮したこと。  □28、出来形管理等に関する工夫  □29、工事計画書及び写真記録等に関する工夫  □30、出来形、品質との計測関係等の工夫、及び集計、管理図等の工夫  □31、ＣＡＤ，施工管理ソフト、度量管理システム等の活用  □32、その他（理由：　　　 ） |  |
| ■その他 　　□33、その他（理由： ） |  |
|  | | 評点： 点　　　・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。  ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評価する。 | 【創意工夫の詳細評価】 |

※１　創意工夫においては、「４．施工技術」の評価項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。

※２　「２．施工状況」「３．出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とされるが、企業努力を引き立たせるため本評価項目でも再評価する。

※３　創意工夫は、「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に簡単な工夫ではあるが非常に役立つ軽微なものを評価する。

工事成績採点の細目別運用表(3/3)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評 価 項 目 | 細目 | 評価対象事例 | 具体的な内容 |
| 社会性等 | 地域への貢献等 | □ 河川等の環境保全を具体的に実施した。  □ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合せる等、積極的に周辺地域との調和を図った。  □ 定期的に広報活動や現場見学等を実施して、積極的に地域とのコミュニーケーションを図った。  □ 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。  □ 災害時に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 |  |

※１　地域への貢献等とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、具体的事例を提出する。